

発行/坂城町公民館 発行人/清水 守 編集/広報部 印刷所/滝沢印刷(同)  
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町大字中之条 2468 TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722



### ◆主な内容◆

- 令和元年度公民館体制 ..... 2P
- 公民館事業スタート ..... 3P
- ふるさと探訪PART104 ..... 4~6P
- 行事から、500字リレートーク ..... 7P
- 講座参加者募集等のお知らせ、館説 開叵 ..... 8P

第36回坂城町囲碁大会 (写真:上段右)

第36回坂城町将棋大会 (写真:上段左、下段)

## “真剣勝負”

(結果は7P)

## お知らせ

### 第41回 納涼音楽会

夏の風物詩である納涼音楽会が今年も開催されますので、ご参加ください。

日時 7月6日(土)  
午後1時開場  
午後1時30分開演

場所 文化センター 1階 大会議室  
主催 坂城町音楽愛好会・坂城町公民館  
出演 町内音楽団体

アルストロメリア 童謡唱歌を楽しむ会  
坂城オカリナ教室 坂城コーラス  
モアナハワイアンズ 坂城町吹奏楽団  
町内小学校・坂城高校からも参加予定です。



### 第64回坂城町成人式 8月15日開催!!

64回目を迎える今年の成人式の該当者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれの方で、町内に住所を有している方、または坂城中学校を卒業した方等が対象です。

～名簿の作成と「ご案内」発送についてお願い～

☆成人式の「ご案内」は、7月上旬に発送を予定しています。  
☆発送は、学生等で町外に転出されている方についても、町内ご住所(実家等)宛となります。  
☆ただし、次に該当される方、または、該当する人を知っている方は、お手数でも町公民館事務局までご連絡ください。

- ① 発送先を上記以外に希望される方
- ② 婚姻等で姓・住所が変わった方
- ③ 世帯ごと町外に転出されている方
- ④ 町内の方で、坂城中学校以外へ進学等された方

【連絡先】坂城町公民館事務局 電話 82-2069

### さかきふれあい大学

### お花でアート「フラワーアレンジメント」

季節のお花をベースにアレンジして素敵な作品を作りましょう!

講師 フローラみゆき 美幸園  
会場 文化センター1階大会議室  
日時 6月26日(水) 午後1時30分～3時  
受講料 500円(材料費別)  
定員 15名



### 親子で参加 川の学校

千曲川に生息している魚等について親子で楽しみながら学ぶ講座です(2日間)。

講師 後藤敏一さん、後藤正一さん  
会場 千曲川(坂城大橋下周辺)  
日時 6月29日(土) 午後3時～6時30分  
6月30日(日) 午前5時～9時  
受講料 1,000円



### 生活改善で葬儀、婚儀をする場合の案内状に同封する通知文は文化センターにあります。ご利用ください。

葬儀・・・香典1,000円、法事3,000円 香典返しは半返し以内で。花輪は辞退しましょう。近親者はこの限りではありません。  
婚儀・・・祝儀(会費)3,000円 引き出物、記念品を出さない。近親者はこの限りではありません。

## 館説 開叵

元号が平成から令和になりました。NHKの世論調査で、平成時代のイメージについて尋ねたところ、「戦争がなく平和な時代」が八割弱に上ったそうです。令和時代も戦争のない平和な時代になることを願っています。ところで、「公民館の歌」というのをご存知でしょうか。昭和二十二年六月に公募によって選ばれ、この歌ができました。三番までありますが、一番の歌詞は次のとおりです。

### 公民館の歌(自由の朝)

作詞 山口 晋一  
作曲 下総 皖一

平和の春に あたらしく  
郷土を興す よろこびも  
公民館の つどいから  
とけあう心 なごやかに  
自由の朝を たたえよう

昭和二十年の終戦後、戦前における社会教育の反省の上に立ち、教育の民主化、文化国家の建設の目的で公民館が設置されました。その願いがこの歌詞の中に込められています。令和においても、公民館設置の原点に思いを寄せ、大勢の皆さんが「つどい」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり、地域づくりに貢献していきたいと思えます。



# 令和元年度 坂城町公民館体制

春が来て、新年度の公民館体制がスタートしました。  
本館専門部のみなさん、分館役員のみなさんを紹介します。一年間よろしくお願いいたします。

## 分館役員のみなさん

(敬称略)

分館	分館長	副分館長	文化部長	体育部長	広報部長
鼠宿	丸山辰行	田中徳一	池田隆	若林裕也	山崎健司
新地	細田厚	澤崎不二男	吾妻聖臣	横山弘治	藤森洋充
金井	表哲男	三井幸喜	白田直行	綾部由紀	山極太忠
入横尾	宮下学	青木徳次	堀内英佑	三井正憲	宮島宏明
町横尾	小林厚	中村幸彦	天田健一郎	細田周作	堀内哲
泉	森下敏幸	西川恵理	西川恵理	清水貴司	森下敏幸
中之条	柳澤次夫	今井賢一 宮入修治	牛澤高志	大久保博	中沢公良
四ツ屋	天田藤雄	矢島良男	鳥居正美	天田宏	寺澤裕一
戊久保	矢嶋誠	丸橋健一	中嶋秀樹	山崎啓五	中嶋秀樹
御所沢	竹堤やす子	滝沢幸映 林克臣	久保田恵	助川朋廣	滝沢和子
田町	竹堤恵一	宮下勝治	中沢佑紀	塚田広司	関智一
横町	宮下秀陣	佐藤准一 香掛一雄	蒲原敏一	宮尾洋行	中沢秀一
込山	片桐有	宮沢彰	宮沢翼	吉池昌志	伊藤浩司
立町	柳沢勝彦	前山一隆 田村譲	田村千里	池田健司	青木秀雄
旭ヶ丘	白砂勇一	荒井明	宮尾久美子	田中弘敏	鳥居勝三
南日名	谷田辺基夫	塚田郁夫 小宮山泉	柳澤和重	塚田利幸	柳澤和重
北日名	富田義信	春日隆文 西沢正一	山崎敏雄	鈴木剛	西沢正一
日名沢	鬼頭忠雄	石原吉紀	塚田克彦	池上清一	宮下玲子
大宮	吉崎博明	富田房雄	古谷哲	宮崎進二	松岡今朝志
新町	富山泰	望月暁 黒岩千尋	中井英光	清水浩樹	磯野清美
坂端	竹内秀雄	高橋伴幸	丸山真哉	高橋祐次	竹内博子
苅屋原	水出康成	小出正紀	水出初雄	千野博	井上敏章
網掛	宮原紘一	久保良祐 武井靖一	武井靖一	塚田友行	宮崎正男
上五明	塚田明	山城健	竹内和幸	久保田真	川島要子
上平	白戸均	宮下祥次	山辺宝予	朝倉千尋	浜本正樹
小網	塩野文明	小島竣二	宮沢正博	塩野仁	西沢茂盛
月見	柳澤宏幸	井出学	岩野むつみ	持田健介	田中けさ江

## 本館専門部員のみなさん

専門部は、町公民館の事業をそれぞれ分担して企画立案し、公民館運営の要として活動します。

### 総務部

町公民館事業全体を検討し、推進します。

部長 天田 藤雄 (四ツ屋)  
副部長 丸山 辰行 (鼠宿)  
表 哲男 (金井)  
水出 康成 (苅屋原)  
白戸 均 (上平)

### 文化部

文化事業を企画し、運営します。

部長 蒲原 敏一 (横町)  
副部長 古谷 哲 (大宮)  
西川 恵理 (泉)  
宮沢 翼 (込山)  
柳澤 和重 (南日名)

### 体育部

健康増進のため体育事業を企画し、運営します。

部長 池上 清一 (日名沢)  
副部長 塚田 広司 (田町)  
三井 正憲 (入横尾)  
清水 浩樹 (新町)  
塚田 友行 (網掛)  
持田 健介 (月見)

### 広報部

公民館報を編集し、発行します。

部長 中沢 公良 (中之条)  
副部長 藤森 洋充 (新地)  
滝沢 和子 (御所沢)  
青木 秀雄 (立町)  
川島 要子 (上五明)

## 第36回坂城町将棋大会開催

3月24日(日)、文化センターにおいて第36回坂城町将棋大会を開催しました。参加者は小学生8人を含む総勢74名の参加がありました。女性は女子高校生2名など5名の参加で、県外(山梨県、群馬県)や松本市、長野市、上田市などからの参加もあり、熱戦が繰り広げられました。

### 公民館長杯

優勝	柏原 哲也	松本市
準優勝	高橋 智哉	長野市
三位	鈴木 翼	長野市

### 文化協会長杯

優勝	鈴木 千尋	長野市
準優勝	関 保	上田市
三位	柳沢 智彦	坂城町

## 第36回坂城町囲碁大会開催

3月17日(日)、文化センターにおいて第36回坂城町囲碁大会を開催しました。20名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。

### 公民館長杯

優勝	中野 勝治	月見
準優勝	小松 丈樹	泉
三位	原 光王	網掛
四位	松岡今朝志	大宮
五位	深代 元栄	日名沢

### 文化協会長杯

優勝	春日 恭蔵	大宮
準優勝	片桐 正	入横尾
三位	市川 静男	小網
四位	坂本 光男	込山
五位	宮下 文吉	金井

## 春の合同茶会開催

4月28日(日)、晴れ渡った空のもと、中之条の文化の館で「第30回合同茶会」が開催されました。今年は、茶室の本席が裏千家、立札席が表千家でした。春のお茶とお菓子をいただきました。



### お詫びと訂正について

前号(388号)P3に掲載した室賀氏の墓(室賀青松寺裏)が誤っていました、正しくは前松寺です。訂正し、お詫び申し上げます。

## 春のスポーツ大会開催

5月19日(日)春のスポーツ大会を開催しました。ソフトボール23チーム、ビーチボール30チームが熱戦を繰り広げました。結果は、次のとおりです。

### 試合結果

ソフトボールの部	優勝	ビーチボールの部	優勝	準優勝
Aブロック	金井	第1ブロック	入横尾 A	込山 A
Bブロック	町横尾	第2ブロック	横町	新地 A
Cブロック	新地・中之条	第3ブロック	四ツ屋 B	込山 B
Dブロック	入横尾	第4ブロック	金井 A	新地 B
Eブロック	四ツ屋・戊久保			



## 不自由になつて感じたこと

500字リレートーク

坂城中剣道部  
顧問 宮原 理沙

今年一月、剣道でアキレス腱を断裂した。約二十年間、剣道を続けてきた中で最大のケガだった。今まで何不自由なく生活し、思いつき剣道をしていたが、左足はギプス、両腕には松葉杖。剣道するだけでなく、普通に生活することもできなくなつた。思うように動けないこと、剣道に打ち込めないこと、たくさん人の迷惑をかけていることが精神的にとっても苦痛だった。しかし、不自由になつて、今まで気づかなかつたこともたくさん見つけることができた。一つ目は、施設内のバリアフリー。所々に設置された手すり、身体障害者用のトイレ、車いすマークのある駐車場、スロープ、エレベーターなど必要とされる場所に必ず設置され、どんな人にも使いやすい



工夫があつた。二つ目は、気遣ってくれる人の温かさ。戸を開け閉めしてもらつたり、道を先に譲ってもらつたり、「大丈夫?」と声をかけてもらつたり、今までよりも人と関わることで、その人の温かさを身をもって感じる事ができた。特に、生活面や精神面で助けてもらった家族、毎日声をかけてくれたり、気遣ってくれる坂城中の生徒や先生方、剣道の先生方には、感謝の言葉でいっぱいです。普通に生活できることが当たり前ではないということ、どんな人でも使いやすい環境が整えられていたり、お互いに温かい心を持つて関係を築けたりすることが大切なんだと感じました。次は濱野まりなさんです。



# 公民館文化講座開講式開催

4月16日(火)、平成31年度坂城町公民館文化講座開講式が行われました。この講座は、新たな学びに挑戦しようとする初心者を対象としております。途中からの受講も歓迎です。講座内容は、ご家庭に配布されました生涯学習情報「まなびの玉手箱」を参考にしてください。

また、文化センター(2階)「K・アートギャラリー」において、文化講座受講者や文化協会及びその他の団体・個人の作品を展示しています。約4週間ごとに展示内容を更新しておりますので、是非ご鑑賞ください。



講座
俳句
短歌
茶道(表千家)
茶道(裏千家)
木彫
書道
コーラス
陶芸
古文書
絵画
NEW 植物散策
盆栽(自主講座)



さかき和布の会  
「ねずみのひなあそび」



ギャラリー展示  
やなぎまちたかし展



## リトミック教室スタート!

5月8日(水)、文化センター大会議室で体を動かしながら、楽しく音感がみにつくリトミック教室が中沢敏江先生の指導により、今年も開講しました。若干定員に余裕がありますので、興味のある方はぜひ坂城町公民館までお問い合わせをしてください。(～2月25日まで 毎週水曜日)



## キッズスポーツ教室スタート!

5月8日(水)、今年もキッズスポーツ教室が開講しました。教室は、幼少期のお子様、いつもとちがうお友達と運動したり、楽しいレクリエーションゲームを通じて、スポーツに親しみ、豊かな創造力を育てていきます。長野体育指導センター市村恵美子先生の指導のもと、30名の子供たちと1年間元気に活動していきます。(～3月4日まで 毎週水曜日)



## ○砂礫地

千曲川の中流域にあたる坂城町周辺は広大な砂礫洲が連なっている。河原を構成する砂礫の大きさは、人の頭より大きな石からさらさらの砂まで幅広い。砂礫河原には日光や風を遮るものがないため、春先は川を渡る強風に身が縮み、初夏以降は河原全体が焼けそうに熱い。河川環境の中でも特に過酷に見える砂礫地だが、ここにも巣を造って子育てをする鳥たちがいる。イカルチドリ、コチドリ、そしてイソシギである。



(写真5) コチドリの巣と卵

イカルチドリとコチドリは、頭はずんぐりと丸く、背面が茶色で、腹面は白い。額から目にかけてと、首周りが黒く、目のまわりにはアイリングとよばれる黄色い皮膚のふちどりがある。イソシギはやや小さな頭と細長くちばしを持ち、背面はオリブがかかった褐色、腹面は下尾筒まで白い。尾羽を上下に振りながら歩くのが特徴だ。三種とも、長めのしつかりした足を持ち、水際を走り回っては水性昆虫などを食べている。

みみの底には小石が敷き詰めてあることが多いが、何も敷かず、単なる窪みに卵が置いてあるだけの巣もしばしばある。イカルチドリの卵は青みがかったり、赤褐色の細かな斑が入っている。コチドリは、黄褐色の地に濃い褐色の斑が入っている。小石の上に置かれた卵も親鳥の羽の色も、周囲の砂礫によく溶け込んでいて、見つかるのは容易ではない。河原を散歩しているときなどに、傷ついたように羽を震わせている鳥を見たことはないだろうか?それはもしかしたら近くに雛や卵があるときにチドリ類やシギ類が見せる擬

## 傷行動かもしれない。

擬傷行動は親鳥の命をかけた名演技である(写真6)。ときに声を上げながら体を傾けて片翼をあげてバタバタさせ、尾羽や両翼を広げて激しく、もしくは力なく震わせ、まるで飛ばずにもがいて弱っているかのように見せる。そうして外敵の注意を自分に引き付け、巣が見つからないようにするのだ。親鳥は、敵が十分に巣から離れるまで、注意深く敵の様子を見ながら擬傷行動を続け、敵が誘いに乗ってこないこと、敵の方に近づいていくことさえある。そして十分離れた安全圏まで敵を連れ出すと、唐突に擬傷行動をやめて飛び去るのだ。

これらの種が何もない、言い換えれば見通しのよい砂礫地に巣を造るのは、敵をいち早く見つけるためでもあるのだろう。皆さんがもし擬傷行動をする鳥に出会ったら、そっとその場を離れてあげてほしい。

## ○増水がつくる崖と砂礫地

鳥たちが利用する環境の中でも、土崖や砂礫地は、時間の経過とともに草や木が茂り、樹林地へとかわっていく。すると、鳥たちは巣を造ることができなくなり、去るしかない。崖や砂礫地に巣を造る鳥が千曲川

で繁殖できるのは、広大な河川の中で草や木の繁茂をリセットし、新たな土崖と砂礫地を造り出す、増水という大きな水の力が不定期ながら生じるからである。規模が大きいと人間生活に影響を与えうる増水だが、河川はもともと動的な環境であり、そこに適応してきた生き物がいる。増水の発生によって生息が維持できる鳥類の存在を認識することは、千曲川の河川生態系を考える上で重要なことだと考えている。



(写真6) 擬傷するコチドリ  
撮影：内田博



# 特集 ふるさと探訪 PART 104

## 千曲川に棲む鳥たち①「鳥の巣はどこにある？」

今回からふるさと探訪は、千曲川の鳥についてシリーズで掲載します。寄稿者は、笠原里恵さんです。



笠原 里恵 (かさはら さとえ)

長野県生まれ。信州大学大学院教育学研究科で中村浩志先生の生態学研究室に進学以来、20年近く千曲川に生息する鳥類の生態について研究を続けています。多摩川（東京都）、鬼怒川（栃木県）、岩木川（青森県）なども調査地。2019年4月より、信州大学理学部附属湖沼高地教育研究センター諏訪臨湖実験所に所属。

### ○自然の流れが残る千曲川

坂城町をゆるやかに蛇行しながら流れていく千曲川は、長野県、山梨県、埼玉県の境にある甲武信ヶ岳の中腹から湧きでる水を源流とし、長野県内を流れて新潟県に入り、信濃川に名前を変えた後、最終的に日本海に注ぐ。その幹川流路の総延長は三百六十七キロメートルで、日本最長の河川として知られている。

上流に大きなダムを持たないため、水の流れはおおよそ自然にまかせて変化する。つまり、台風などで大雨が降れば水位は大きく上昇して増水となり（写真1）、勢いのある水は砂礫や植物などを押し流して、中州の配置や大きさ、その陸上部分の植物状況などを一変させる。

歴史的に人々は、飲み水や農業用の灌漑用水、肥沃な土壌、内水面漁業などさまざまな恩恵を河川から享受してきた。もちろん、人と河川との付き合いには自然の恵みだけでなく闘いもあった。増水によって、河川周辺に住む人々の家が浸水することもあり、田畑が押し流され、人々の命が奪われることもあった。こ



(写真1) 増水による千曲川の水位の変化（2006年7月、鼠橋から上流を撮影）

わることになったのは、一九九七年の河川法改正である。河川生態系や植生の保護・育成が河川管理の目的に加わり、人々に潤いを与える重要な水と緑の空間としても認識されるようになったのだ。

### ○河川生態系を知る意味

河川生態系に配慮した河川管理、いわゆる川づくりとは、何をどうしたらいいのだろうか？重要なのは、河川の姿は地域によって違うということだ。流域に住む皆さんが河川とどのように関わってきたかという歴史はもちろん、河川そのものの構造や環境、生息している生物の種や豊富さも川によって違う。つまり、河川生態系に配慮した川づくりというのは、つきつめていけば、その川らしい川を目指すということになる。

### ○千曲川環境と鳥類

前置きが長くなってしまったが、千曲川らしい川を考えると、そこに生息する生物を抜きにして話は先に進まない。今回を含め、三回のお話の中で私が紹介するのは、千曲川に棲む鳥たちである。

鳥という翼があつて、自由にどこへでも移動していくことができると思いの方も多いかもかもしれないが、鳥にはそれぞれ種で好んで利用する環境があり、ある種がそこにいるか（生息できるか）は、その種が利用できる環境の有無や量に左右されるところが大きい。

特に、卵を産み、雛を育てる繁殖期は、外敵に巣が見つからないように、雛に栄養をたくさん与えられるようにと、親鳥の環境に対する好みがある。千曲川では、どのような鳥たちが棲み、繁殖しているのだろうか？環境別に紹介していこう。

### ○ヤナギ・ハリエンジュ林

鳥の巣といわれて思い浮かべるのは、小枝や枯れ草を編んで樹上や草の中に造られたものかもしれない。たとえば、木の枝で作られたハシボソガラスやキジバトの巣、枯れ草などで編まれたヒヨドリやモズなどの巣などである。こういう巣は、千曲川の水際に生育するヤナギ林や、そこからもう少し陸上がった場所に発達しているハリエンジュ（春に白い房状の花を付け、ニセアカシアとも呼ばれる）林の中で見られる。林床の草の中にはホオジロ（写真2）



(写真2) 草の中に造られたホオジロの巣と卵

やキジの巣も見ることができ。また、木の幹にできた穴（樹洞）にはシジュウカラやムクドリも営巣する。

ただし、ハリエンジュは北アメリカから持ち込まれた外来種で、暖炉の薪には適していると聞くが、増水時には流木になりやすく、この木の繁殖は治水の面からは問題もある。

### ○ヨシ原

成長すると、ゆうに三メートルを超えるヨシの群落は水辺に発達しやすい。四月下旬になると、オオヨシキリが繁殖のために海外から渡ってきて、ヨシのつべんに留まり、ギョギョシ、ギョギョシと賑やかにさえずるようになる。この鳥はヨシの茎に枯れ草を巻き付けて巣を編んで



(写真3) ヨシ原のオオヨシキリの巣と卵

いき、宙に浮いたような巣を造る（写真3）。ヨシが風に揺れるたび巣も揺れるが、卵を温める親も孵化した雛も一緒に揺れて、気にしていないようだ。海外の研究では、水の上に生えたヨシの群落は卵や雛を襲う天敵が近寄りづらくするため、巣造り場所として好まれやすいと言われている。

### ○土崖

千曲川には、土が露出した崖が所々にある。これらは、増水が起きたときに、水流で土が削られてできたものだ。崖の表面をよくよく眺めると、穴が開いていることがある。見つけた穴が縦に長い楕円形で、下の左右に窪みがあれば、それはカワセミかヤマセミの巣かもしれない（写真4）。カワセミはその青とも緑とも見える背中中央にひとときわ目立つ水色の羽を持ち、お腹は橙、



(写真4) カワセミの巣